



29

株式会社ドリームパートナーズ
代表取締役 藤本准一
【HP】<http://www.dream-p.jp>

化し販売の再委託を禁止する方針を決定したと
いうニュースが飛び込んできました。平たく
言えば委託型使用人を
認めないとということです。
この10年ほどの間で
代理店の合併、大型化が
相次ぎ代理店の数は減少
していましたが、その
実、募集人の数は減って
おらず、むしろ増加して

どうなる？ 保険業界

金融庁の規制強化など踏まえ

品説明の不十分さ」「手書きく依存します。お客様
数料目的で不必要的商品との会話のニュアンス
品を顧客に販売する」で、「もしかしたら気変更
などの契約者に対するわり(変更)があるかも
いわゆる保険の不適切で「しない」と予測できる
販売を防止するというセンスと、TBに落として
のが最大の目的でもあり込める能力でしよう。
ます。これらの問題も含めもちろんエッセンスで
わせて根本的な解決策をすから、失念や怠慢はも
業界として打ち出してもつての外であることは言
らえるよう期待したいと思うまであります。

「**真実**」がどこにあるのか考える

つなる？ 保険業界

品を顧客に販売する」で、一もしかしたら「契約者に対する
などの契約者に対する
わり（変更）があるかも
いわゆる保険の不適切
しれない」と予測できる

みなさんこんなかば。
ドリームパートナーズの
藤本です。わたし今用ひの話題に
ふれたいとおもいます。年明け早々金融庁

いふといつてもいいかと 思います。 ます。 開けたままであります。
弊社には委託型使用者 金融庁の指摘にもある ように「教育、指導が不 まいます。このルールの
その一つの募集形態と はおりませんので正直ピ ただし、多用すると逆

株式会社一期(いちご)保険事務所
代表取締役 石井 裕二
H P ▶ <http://homepage2.nifty.com/ichigo/>

社内で「計上待機」ルール

予期せぬ業務に対応するため

弊社には『計上待機』と呼称した業務ルールが意外と役立っています。直に計上をしないで、

ストスパートとなりました。ゴールが見えた方、さらなる頑張りを要する方とさあままではないでしようか（弊社は後者です）。

はタブレットで即時に完結できる環境まで整うなど、営業と事務の垣根が低くなった背景があります。

各スタッフが、業務の山と谷を整理した活動が必須となりますので、タスクブレークダウン（以下、TBと略）による行動を推奨してきました。

およそ「忙しい人」は自分なりの習慣を優先し、業務フローを整理しないまま行動しているケースがほとんどです。TBの解説はこれまでですが、少しづつ詳しく説明させていただきます。

例えば、「満期の案内をする」業務（タスク）

効率に影響しており、おかげです。

そのため、そのABCの要素には、どれぐらいの時間または工程数を要するかを細分化して分析（タスクダウン）します。すると、「思ったより時間がかかるない」とか、「この作業は他と並行である」などが把握でききます。

そこで、微力ではあります。しかし、お客様の繰り返しだけですが、必ず自分に適した業務プロセスとして身につきます。

もう一歩進めると、こちらにはそのような内輪のTBを他の業務でも応用できるように、モジュール化（業務の集合）して、スキームを組むまではスクリプトに落とし込む）訳ですが、これは

慣れるとまずは試行錯誤の一電話募集で処理できることになります。快く要望したことなく、対応したいものです。

業務を分析し実務へ タスクブレークダウンを実践

の道程や所要時間を逆算して出発時間を見定め、TBは意識して仕事を TBとします。この段取りもTBと言えます。

B「設定」→A「目的」と、逆順でプロセスを組み立ててもよいでしょう。まずは期限を決めます。何よりも重要なのは、

クションが可能となり、このような契約直後の合併せて、代理店の1か月がいかに一つの塊ごとに区分できる業務である変更には面倒な作業が伴います。一旦契約を取り消し、再度契約を手続きなどです。

現代人のカルテ

つておきたい「病」の話

語られなくなつた原発の話題

時間を見直していかれ
た。また、遡りますが、都
知事選挙が公示された翌
日のNHK朝6時30分の
ニュースではヘッドライ
ンで取り上げずにスルー
していたのに驚くほか
なかつた次第です。
では、なぜこんな異常
事態が発生したのかとい
うと「原発問題」以外、
考えられません。特に原
発即時停止の細川元首相
が応援団長として加わ
たこととマスメディアは
「公平を期すべく」都知
事にいたしましたが、結
局この素晴らしい国、日
本をだめにしてきたこと
のすべてをスマスマティア
に帰すわけではありません
が、「最大の責任者の
一人」であることは否め
ないのではないか。
この連載で繰り返し書
いてきたことがあります、結
局この素晴らしい国、日
本をだめにしてきたこと
のすべてをスマスマティア
に帰すわけではありません
が、「最大の責任者の
一人」であることは否め
ないのではないか。
じにもかくにも、TV
や大新聞で報道している
ことには「今、なぜ、こ
のニュースを報道してい
るのか」常に考えないと
かつて彼らは「大本営発

事選で細川・小泉のツーショットを見せないばかりか、都知事選自体の報道を「は、どう、国世界でも同様のこと」が言ひるがえって、医療の表」をそのまま国民に伝えていた過去があるので、すから。

膨大な情報に隠される真実 汨濺する無駄なニュース

日)に至っています。選舉一週間前の状況は普段大々的に報ずる各社があたかも「知事選挙はない」かのように無視してはつきりと、われわれの普通生活にまつたく関係ないソチ冬季五輪を中心とした関西後援会を設立の通りです。

電力を供給である。いうことは可能です。
原子力発電賛成であるし、膨大な情報のなかから
とがあるのです（もちろん、小泉元首相の言うと
おり最終的処理費まで考
えると膨大な費用になる
どころか、最終的処理の
作業ですが、真実を探
るには大きなり
労力が必要です。大変な
ことを探するのには大きなり
ださい。